

2025年度

Zenkyoken

久留米大学附設中学校 入試問題解答

国語

【総評】㉑作文、㉒言語事項、㉓説明的文章、㉔文学的文章からの出題。㉑では、二つの四コマ漫画を通して、登場人物が学んだことを記述する作文が出題された。㉒では、「便」という漢字に関する知識、慣用句、擬態語、助動詞の意味・用法の識別が出題された。㉓では、筆者自身が「山の樹の伐り方」について聴きだす経験を通して得た考えを、私たちの知識や価値観のとらえ方に応用して述べた文章である。中でも、文章の構成について説明（記述）する問いが出題されたのは目新しい。㉔では、主人公が絵を描くことによって、自分なりの表現の仕方に気づいていく様子を描いた文章である。人物の様子や態度から心情を読み取る力が問われた。全体的に、幅広い語彙力と、細部を読み取る力、そして、読み取ったものを的確な言葉で表現する力が求められる問題であった。

㉑ (例) A からは、「成功」や「失敗」という成果にとらわれず、事実を喜ぶ姿であり、B からは楽しく行動していることに目的や意味を考えなくてもよいということ、大人のブタは子供の様子から学んでいるのである。両方の場面を通すと、「意味」や「目的」、「成果」ばかりを重んじるのではなく、事実そのものを受け入れたり、楽しんだりするなど、素直な自分の気持ちと向き合うことの大切さを学んでいると思う。

㉒ 問一 ① 九 ② ア 軽(便) [別解] 簡(便) イ(便) 乗 ウ 方(便)

問二 ① 粉 ② 気 ③ 都 問三 ① ニ ② ロ ③ チ

問四 ① オ ② ウ

㉓ 問一 a 訪 b 昨今 c 視野 d 検証 e 過程

問二 A ニ B ロ C ハ

問三 I (例) 規格化されない複雑な II (例) 能率的とは言えない

問四 今の伐採箇所や伐採量のみ 問五 「伐採をいかに

問六 IV イ V (例) 疑問を持ち、知性を働かせることで、変化に即した対応をする

問七 ア・オ(順不同) 問八 私たちは知らな

問九 VI (例) 具体的体験 VII (例) 一般化し、他の問題にも応用する



㉔ 問一 群 問二 (例) 本来の自分ではない、学校でうまく過ごすために装った自分

問三 ア × イ × ウ ○ エ ○ オ ×

問四 学校にいる時の自分の気持ち [別解] 学校にいる時の気持ち 問五 ウ

問六 (例) みんなと仲良くするために苦手なことでも我慢していたので、疲れる

問七 (例) 合田先生に呼び出されたことで、苦手なゲームの誘いを断れてほっとする気持ちを、ますみちゃんに気付かれないようにした(から。)

問八 (例) 描いた絵に、マコの負の感情が表れている

問九 エ

